

■編集発行

岐阜県立東濃実業高等学校
PTA文化広報委員会

■責任者

PTA会長 後藤 茂巳



東 実

学習成果発表会を1月26日にオンラインと展示・体験で行いました。



羽ばたく東濃実業生

校長 宮田 慶美

保護者の皆様には、日ごろから本校の教育活動に格別のご理解とご協力を賜り、また、PTA活動において多大なるご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。3年生の保護者の皆さまにおかれましては、お子様のご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

さて、今年度は感染防止対策を講じながら学校行事、部活動、生徒会活動を内容や方法を工夫しながら取り組むことができました。この三年間の間には目標にしていた大会やコンクール等が中止となり、悔しい思いを余儀なくされたこともありました。前向きに全力で取り組む生徒たちの姿があり、部活動では全国大会や東海大会、県大会で活躍する成果を挙げてくれました。

また、一月に実施された学習成果発表会では、3年生が身につけた知識と技術を十分に発揮し、創意工夫を凝らしたオンライン発表を行い、1、2年生は先輩たちの姿を通して今後の学習意欲につながる良い刺激を受けることができました。

3年生は高校生活を終えてそれぞれの新しい道へと歩み始めます。ひとえに、深い愛情で見守り、支えていただいております保護者の皆様のおかげと感謝申し上げます。今後も東実生が希望に満ちた輝く未来を目指して成長し、より大きく羽ばたくよう職員一丸となって支援し、取り組んでまいります。

「私のPTA活動」

PTA会長 後藤 茂巳



日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、今年度卒業される生徒の保護者の皆様、まことに

おめでとうございます。

東濃実業高校に息子が入学すると同時に私のPTA役員としての活動がスタートしました。

コロナ禍の中、手探り状態での活動でした。三年目になってようやく『あずさ祭』が二日開催になりましたが、PTAバザーは行うことはできず、各賞の賞品の用意を手伝う程度でした。しかし、生徒会主導による、最高に盛り上がったあずさ祭に参加出来た事は

この上ないラッキーでした。また『同窓生の日』にバザーを開催出来た事で、少しホッとしました。

紆余曲折ありましたが三年間貴重な体験をさせていただきました。これもひとえに他の役員様、学校関係者の皆様、地域の方々、そして素晴らしい生徒の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

最後の締めは“あいうえお作文”で。

『と』 とまどう事もありません。

『う』 ウキウキ気分も味わいました。

『じ』 じいさんになっても、

『つ』 ついついしゃべりたくなる思い出が出来ました。

令和4年度の進路状況について

コロナ禍で高校生活が始まった今年度の3年生ですが、自分の進路実現を達成しました。

今年度の求人数は約900件で、製造業や建設業の現場職の求人が多く、その内通勤可能な企業からの求人数は約400件で、本校生徒の希望の多い事務職の求人も希望人数以上いただきました。9月の就職試験では、生徒はしっかり準備して臨み、内定率92.6%という結果を残しました。1次不採用もありましたが、その理由は、本人の希望職種と適性が合っていなかったことでした。不採用の生徒も2次試験に臨み、11月中には全員内定をいただきました。自分の適性について再考し、諦めず就職活動に取り組んだ成果です。公務員については、岐阜県警察事務、岐阜県警察、可茂消防に合格をいただきました。岐阜県警察事務に合格した生徒は、他に国家公務員、警視庁にも合格する成果を上げました。

進学では、商業科は経済・経営系および情報系の分野を、生活文化科は医療看護系や保育系などの実学系統へ進む生徒が多い状況です。進学先は、中京大・名城大・愛知学院大等の四年制大学、県立多治見看護、県立衛生専門学校などです。面接はもちろんのこと、小論文、英語や国語などの学力が求められる入試が多くなっていますので早くからの対策が必要です。また、出願の際の書類には、活動実績や志望理由について、詳細に記入する必要があります。普段の授業はもちろん、専門科での体験実習、地域での活動や校外でのボランティア活動、取得した資格、部活動などをしっかりと行い記録を残しておくこと、そして将来を見据えて学習したい分野の研究をしておくことが重要になります。

社会人としての資質を身につけるため、2月に2年生が取り組むインターンシップは、コロナ禍のためここ2年間中止でしたが、今年度は実施することができ、有意義なものとなりました。

来年度も不透明な求人状況、変化が続く進学入学試験にも対応し、本校生徒が諦めず前向きに取り組み、希望の進路を実現することを願い、支援していきたいと思っております。

① 全体の状況

	男子	女子	合計	割合(%)
進学	45	95	140	75.3%
就職	8	38	46	24.7%
合計	53	133	186	

② 進学・校種別

	男子	女子	合計
四年制大学	27	20	47
短期大学	1	16	17
専門学校	17	59	76
合計	45	95	140

③ 就職

	男子	女子	合計
一般	7	32	39
公務員	1	2	3
自営・アルバイト	0	4	4
合計	8	38	46

卒業生から「ありがとう」の言葉

「家族」

3年1組 渡邊 茉己詩



生まれてから18年間私は、「家族」に支えられてきました。

家事に仕事に忙しいのに、毎日おいしいお弁当を作ってくれて、部活動の送迎や応援に駆け付けてくれた母。悩み事があれば聞いてくれて、アドバイスや知識をくれて私がしたいことを不自由なくさせてくれた父。自分の経験から私のためになるような話をしてくれる兄。改めて家族のことを考えると、日々伝えられていないけれど多くの感謝をしないとけないと思いました。

これから、私は進学してまだまだ家族にいろいろしてもらう立場だけど、してもらったこと一つ一つに感謝を忘れず、また感謝を言葉にして伝えていきたいです。そして、何かをしてもらうだけでなく、私も家族のためになるような行動をして恩返しをしていきます！

「お風呂掃除」

3年2組 藤井 啓太郎



いつもお仕事お疲れ様です。ご存知のとおり私はお風呂掃除が嫌いです。ですが、家に早く着く私はお風呂掃除をやらなければいけません。部活動がある日は帰りが遅くなるため、必然的にお風呂掃除をやらす

にすみます。引退後も学校に居残りしていることが多かったため、お風呂掃除をやらぬ日が続きました。が、私はそんな状況に甘えていたのです。両親は仕事から帰っても家事をこなし、私が何不自由なく過ごせる環境を作ってくれました。学校で頑張れるようバックアップしてくれました。それなのに私はお風呂掃除一つできないなんて情けない。お風呂掃除から目をそらすたびに罪悪感と両親のタフさを知らされました。母・父へ、ここまで育ててくれたこと、感謝しかありません。ありがとうございます。この感謝の気持ちは、浴室リフォームでお返しします。

「幸せを教えてくれた両親へ」

3年3組 曾我 憲伸



こんな手紙みたいな感じで感謝を伝えるのは照れくさいですが、この機会を借りて私なりに18年間の感謝の気持ちを伝えようと思います。

私は、家族や周りの人にたくさん支えられながら10年間野球を続けることができました。いつも朝早く起きて私にお弁当を作ってくれるお母さん、野球で調子が悪いときに、いつも話を聞いてくれて、時には叱ってくれるお父さん、練習試合があればどこにでも応援に来てくれる両親、たまに練習相手になってくれる弟、私に癒しを与えてくれる猫のまさおくんとならおくん。いつも近くで寄り添ってくれる家族がいるから私は幸せでいられます。

こんな幸せな毎日を与えてくれた両親に感謝し、これからたくさんの人を幸せにできる人になろうと思います。

「沢山の感謝」

3年4組 荻野 隼輔



生まれてから18年間、私は多くの場面で家族に支えられてきました。特に母には、沢山の苦勞を掛けてしまったのを覚えています。今の私がいるのは、間違いなく母のおかげです。中学生の頃、私は人間関係で

とても悩んでいました。人と関わることが嫌になり、学校にも行きたくないと思ってしまう時もありました。しかし、そんな私の話を聞いて励ましてくれたのは、私の母でした。母に相談することができたおかげで、中学3年生では、とても楽しく学校生活を送ることができました。

そしてもう一つ、私は中学生の時にテニススクールに入りましたが、部活動よりも練習日が多く通うのがとても大変なクラブでした。夏休みは10日間くらいしか、休みがなかったほどです。ですが、それでも母は毎日家事をしながら、送迎をしてくれました。母には感謝してもしきれない程です。18年間、本当にありがとうございます。

「大好きな家族へ」

3年5組 水本 結心



私は18年間家族に支えられて生活してきました。

中学校から高校まで吹奏楽を続けられたのも家族の支えがあったからです。

普段伝えることのない感謝の気持ちをこの場を借りて伝えたいと思います。

いつも明るくてどんな相談でも聞いてくれる優しい母。欲しいもの行きたいところ、やりたいことを全て叶えてくれる父。そして、どんな時も元気で、一緒にいると笑顔にしてくれる3人の妹たち。私は、家族みんなのおかげで毎日楽しく過ごすことが出来ました。

3人の妹たちもそれぞれの習い事や部活動をしていて、他の家庭より何倍もの送迎で忙しい中、毎日朝練の時間に起きてお弁当を作り、駅までの送迎や必ず吹奏楽の演奏会に来てくれました。

この生活ができていることを当たり前だと思わずにこれからは「ありがとう」という言葉をたくさん伝えていきたいと思いました。

「感謝のキモチ」

3年6組 遠藤 柚希



私は、中学校から6年間家族や仲間に支えられながらソフトボールを続けてきました。ソフトボールを通して、技術力や精神面を高めることで、自分がどんどん成長していくことを感じ、ソフトボールに

対する好きが大好きに変わりました。辛い時には仲間の「一緒に頑張ろう！」の言葉で何度も救われました。どんな時も見捨てず寄り添ってくれて本当にみんなありがとう。このような素敵な仲間・環境で不自由なくソフトボールを続けてこられたのは家族の支えがあったからです。温かい言葉で心の支えになってくれた母。どんなに朝が早くても送迎をしてくれる父。家族に伝えきれないほどのありがとうございます。今の生活を当たり前と思わず、常に感謝の気持ちをもって家族に「ありがとう」と言葉にしていきたいです。今まで迷惑や苦勞をたくさんかけてきました。将来、必ず美容師になって家族に恩返しをし、次は私が家族の支えになり、ありがとうと言われる存在になりたいです。

地域連携・地域交流

飛び出せ地域へ東実プロジェクト ～地域創生を目指して～

〈 事務管理類型 〉

事務管理類型は、学習成果発表会に向けてマナー班、検定攻略班、タイピング班、NIE班、達人班に分かれ活動をしてきました。各班が「誰かのために」という共通目標に向けて、時には班を越えた活動を展開しました。取り組みを通し、より深く地域のことや、仲間について深く知ることができ、東実愛を育むことができました。



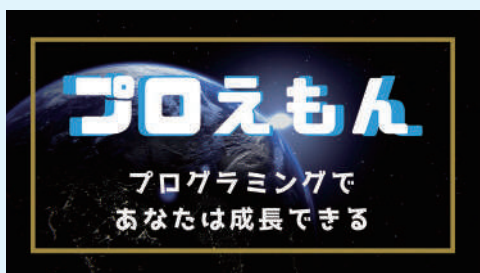
〈 簿記会計類型 〉

簿記会計類型では、地域活性化をテーマに御嵩町役場や可児市役所にも協力していただき、4つのグループに分かれて活動しました。名鉄広見線や御嵩町を走るふれあいバスの魅力を伝えるため、校内で利用状況などのアンケートを実施、沿線のマップを作成し、PR動画を作成しました。また、伏見地区の観光案内や可児市の久々利地区にある荒川豊藏記念館のPRのため久々利地区の紹介動画などを作成しました。



〈 プログラミング類型 〉

本年度は「誰かの役に立つプログラム」をコンセプトとして作品制作を行いました。タイピングソフトや、単語の暗記支援ソフト、お昼の放送曲目抽選ソフトなど、様々な作品を制作しました。動画作成ではプログラミングがわからない方にも作品やプログラミング類型の魅力が伝わるよう、ストーリー性を重視して作成しました。きっと動画を見た方はプログラミングに興味を持ってもらえると思います。



〈 起業創造類型 〉

今年度も起業創造類型では、様々な企業とコラボレーションし、企画や商品開発をしました。今年度特に力を注いだのが、サヨリ飯の復活!! 鶏舞屋さんとサヨリ缶を開発しました。そして、可児ッテ・JR岐阜駅、羽島駅、ローズガーデンでの販売やクラウドファンディングに挑戦しました。郷土料理(五大銘飯)を手軽に再現できる商品として、世に広めていきたいと思っています。



〈 ソフトウェア活用類型 〉

ソフトウェア活用類型では、スマートフォンを活用した情報発信について学びました。プロセスエコノミーなど情報の伝え方や、静止画、動画、ARなどのコンテンツ作成について実践・研究を進めました。また、個と個がつながるWeb3.0という新しい時代へ適応できる力の育成を目指して、作成したコンテンツへの付加価値の付け方や、社会の変化に適応すべく情報分野の知識など、一歩進んだ学習にも取り組むことができました。



〈 システム開発類型 〉

システム開発類型は「iPhone向けアプリの開発」に取り組みました。タイムカプセル株式会社さんに外部講師としてご来校頂き、MacbookのXcodeというアプリ開発ツールを使い開発を進めました。授業の中で生じた疑問は、コミュニケーションツールのSlackを使いタイムカプセル様から遠隔での指導も受けることができました。今年は4つのグループに分かれて「オリジナルアプリの開発」を行いました。各グループともiPhoneで実際に作動するアプリを完成させることができました。



生活文化科の取り組み

衣文化類型

「film～誰もが主役～」

今年度は9人という少ない人数でしたが、テーマの～誰もが主役～のように、それぞれの個性を生かし課題研究に取り組んできました。

企画班は私たちの好きな「31アイスクリーム」の2つのフレーバーをデザインしてミニトルソーに着せました。

手芸・NIE班はSDGsに焦点を当て、ハギレを使った小物を考えました。

また、3年間の集大成としてファッションショーを行いました。ファッションショーのテーマは「おとぎ話」です。「不思議の国のアリス」「美女と野獣」「人魚姫」「シンデレラ」の4つの物語を表現しました。

一人一人の個性を生かすことができるよう作り上げました。自分の体形に合ったドレスを型紙から作り上げるのはとても大変でしたが、完成した時は大きな達成感があり、素敵なショーができました。



食文化類型

「ぱっくんふらわー」

たくさん食べて笑顔になり、個性豊かな花を咲かせるという意味を込めた『ぱっくんふらわー』というテーマのもと活動を行ってきました。シュガークラフトでバラがいっぱいのケーキを作り、不思議の国のアリスをテーマにヘクセンハウスを作りました。岐阜県を代表する和菓子を作り、たくさん笑顔の花を咲かせることができました。

また、地域食材の魅力を感じてもらえるよう、NIE活動では、「みたけのええもん」を紹介する『ええもん新聞』を発行することができました。また、地域食材を使った焼き菓子を考え、『バラ香る 酒粕クッキー』をLa Provinceさんの協力のもと商品化し、2月中旬から販売することになりました。



福祉看護類型

「ひまわり」

「地域との関わり」を大切にし、様々な活動を行ってきました。地域の高齢者の方々が明るく元気に過ごすためのサポートができるように、介護予防班、要介護支援班に分かれて研究に取り組んできました。介護予防班では、誤嚥に着目し、御嵩町食材を使用した介護予防レシピの開発、誤嚥予防効果のある動きを取り入れた嚥下体操の考案を行い、地域の高齢者に紹介しました。要介護支援班では、ユニバーサルデザインやバリアフリー、認知症高齢者への理解を深め、学んだ知識や活動を通して感じたことなどをより多くの方に知ってもらうためにポスターや広報誌の記事を作成して本校生徒や地域住民への周知を図りました。



保育類型

「まほうのクレヨン」

子どもたちが思わず夢中になる作品を作りたいという思いのもと、「子どもとうた」「子どもと遊び」「子育て支援」「地域の民話」の4つの班に分かれて課題研究を行ってきました。子どもとうた班では、全校生徒にアンケートを実施し、その結果を基に動画を制作しました。子どもと遊び班では、「感覚」に注目し、触覚、聴覚、視覚で楽しめるおもちゃをそれぞれ制作し、実際に子育て支援施設に置いて頂き体験してもらいました。子育て支援班では、子どもを育てている方にアンケートを実施し、そこから子育て啓発動画を作りました。地域の民話班では、御嵩町に伝わる民話を、紙芝居と人形劇にしました。それぞれより質の高い作品作りを目指して活動をしました。



部活動名	大会名	部門	成績
剣道部	坂井杯争奪中濃地区剣道大会	女子団体	第3位
卓球部	県新人大会	女子団体	第5位
	東海新人大会	女子団体	出場
陸上競技部	中濃地区大会 駅伝大会	女子	第2位 1-1 服部七海 1-2 木村朱里 1-4 服部友海 2-5 田中沙和
	可児駅伝競走大会	女子	第4部 優勝 1-1 服部七海 1-2 木村朱里 1-4 服部友海 2-5 田中沙和
光画部	各務原高校生美術展 写真の部	個人	優秀賞 2-2谷口七砂 奨励賞 堀田若芭
	日韓中高校生写真コンテスト	個人	全日本写真連盟賞 3-5若原春菜



「全国大会を経て」

ホッケー部主将 平岡 美優

私達は昨年、各務原市の川崎重工ホッケースタジアムで行われた第54回全国高等学校選抜ホッケー大会に出場しました。

全国大会出場までの道のりは、険しいものでした。コロナウイルス感染症の影響は大きく、思うように練習が出来ないこともありましたが、しかし先生方のご指導の下、チームの目標であった全国大会に出場するため、この一年間、練習に励みました。

その結果、全国大会に出場することができ、今まで頑張ってきたことが報われたと感じ、心から達成感を感じました。また、このチームが、全国大会に出場できるレベルになれたことに、自信が持てました。

全国大会では、初戦敗退という結果に終わり、レベルの高さを痛感しましたが、全員が攻めの姿勢を忘れず堂々とプレーすることができました。

今まで支えてくださった先生、保護者、チームメイトに感謝の思いでいっぱいです。チームの後輩達には、今後も自分達の目標に向かって頑張ってもらいたいです。